

## 令和7年度第1回鹿屋市国民健康保険運営協議会【書面開催】会議録

1. 開催期間 令和7年11月10日～令和7年11月26日

2. 出席委員 濱園委員、脇田委員、重信委員、北之園委員、前田委員、  
福田委員、吉留委員、田坂委員、宮下委員、上籠委員、渡邊委員、  
落合委員、有村委員、蔵前委員

※書面開催に伴い、すべての委員からの意見書が提出されたことから、全委員の出席があったものとみなす。

3. 報告事項

- (1) 令和6年度鹿屋市国民健康保険事業特別会計決算について
- (2) 国民健康保険被保険者等の状況について
- (3) 子ども・子育て支援金制度について
- (4) その他(国民健康保険制度等全般について)

4. 開催要件の確認

令和7年度第1回鹿屋市国民健康保険運営協議会における書面開催については、委員の3分の1以上の者が書面により会議に付議すべき事項を示し、協議会の招集を請求していないことから、鹿屋市国民健康保険条例施行規則第7条で定める会議の開催要件を満たしていることを踏まえ会議が開催されたものとする。

5. 委員からの意見、質問 別紙のとおり

令和7年度第1回鹿屋市国民健康保険運営協議会（書面開催）結果について

1 報告事項

- (1) 令和6年度鹿屋市国民健康保険事業特別会計決算について  
意見なし
- (2) 国民健康保険被保険者等の状況について  
意見なし
- (3) 子ども・子育て支援金制度について  
意見あり
- (4) その他(国民健康保険制度等全般について)

2 委員からの意見

- (1) 子ども・子育て支援金について

【意見①】

子どもの支援ばかり注目されすぎですね。子供が欲しくてもできない方たちに対して不公平であると、これ以上必要でしょうか。

高齢者の病院負担も増えるのではないですか。

【回答】

現在、我が国では少子化が深刻であり、このままでは将来の生産年齢人口が大幅に減少し、国民健康保険財政をはじめとする社会保障制度そのものの維持が極めて困難になると予測されます。

高齢者医療費につきましても、現状は現役世代が支払う保険料や税金によって大半が支えられていますが、少子化で現役世代が減少すれば、将来的に一人あたりの負担がさらに増大し、高齢者の皆様が必要な医療を受けられなくなるリスクも高まります。

子ども子育て支援制度は、将来の国民健康保険制度の「担い手」を確保し、高齢者となっても将来にわたって安心して医療を受けられる基盤を守るための制度として御理解をお願いいたします。

- (2) その他(国民健康保険制度等全般について)

【意見①】

物価高で何もかも値上がりしている中、毎年上がるのではなく、長い年月をかけてあげてもいいのではと思います。

【回答】

物価高騰などで家計が大変な中、本市もその状況を注視しながら制度を運営しております。国民健康保険税は、皆さんがいつでも安心して医療を受けられる『国民皆保険制度』を守るための大切な財源であります。ご

存じの通り、少子・高齢化の進展や医療技術の高度化で、医療にかかる費用は年々増え続けています。もし、この増え続ける医療費に対して必要な財源が不足してしまうと、医療の質が低下したり、将来世代へ大きな負担を押し付けることにもなりかねません。大切な皆保険制度を維持し続けるためにも、医療費の動きに合わせて保険税を適切に見直すことが不可欠だと認識しております。皆様のご負担をできるだけ軽くしながら、この制度を守り続けるために、引き続き努力を重ねてまいりますので、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

**【意見②】**

一律にせず、相応の収入とのすり合わせがいいのでは。

**【回答】**

国民健康保険税につきましては、一律ではなく、加入者の所得による所得割、加入者数による均等割、1世帯ごとの平等割の合計金額になります。前年1年間の申告された所得に税率がかかるため、所得に応じた保険税が課税されています。

**【意見③】**

特定健診の受診率は昨年度より上昇したのか。

**【回答】**

特定健診の受診率は、令和5年度の37.2%に対し、令和6年度は33.6%と下がっている状況ですが、令和7年度においては福祉共通券の波及効果もあり改善している状況ですので、今後も受診率向上対策に取り組んでまいります。

**【意見④】**

集団健診の問題として、40代から50代の受診率が低いと、40代から50代に特化した事業のやり方に変える必要があるのではないか。

また、高齢者はどこかの病院にかかっていることが大半なので、血液検査、尿検査等は病院に促すことは、できないのでしょうか。

これからは、健康寿命を延ばしていく方に切り替えて1日1回の体操、週に1回のウォーキングなどの促進や周知に展開していくべきだと思います。

**【回答】**

鹿屋市データヘルス計画において、40代50代の受診率向上対策を中心におくことを掲げています。そのため、集団健診については、待ち時間を減らすために予約制を導入し、土日祝日にも健診を実施するなど、受診環境の整備に取り組んでおります。

また、定期的に病院受診をされている方につきましては、病院での検査項目を、同意のうえ提供していただく「情報提供」を実施しており、各医療機関へも協力をお願いしているところです。

今後も被保険者の健康寿命の延伸のため、保健事業の推進、周知広報に取り組んでまいります。